

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス		令和 8年 2月 2日				
		チェック項目	はい	いいえ	よくわからない	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13			大型の家具や玩具の設置を最小限に抑え、活動内容に応じて十分なスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13			こどもの状態や利用定員に応じ、基準に沿って適切な職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13			車いすで出入りできる段差のない出入口を設け、療育室内も段差をなくすなど、環境をわかりやすく構造化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		1	常時換気を行い、乾燥する時期には加湿器を使用するなど、清潔で快適な環境づくりに努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1		宿題や不安定な時など、必要に応じて個別の部屋で落ち着いて過ごせる環境を整えています。
営	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			毎年評価アンケートを実施し、保護者のご意見を業務改善に活かしています。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			毎日のミーティングなどで職員の意見を把握し、業務改善に活かしています。	話しやすい環境づくりを意識していきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	1	職員の資質向上のため、適宜社内外の研修に参加する機会を確保しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		1	支援プログラムはホームページで公開し、日々の様子も写真で紹介しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		1	日々の子どもの様子を把握し、個別・全体のニーズや課題に基づき計画を作成しています。	成長の早い子ども達なので、たくさんの目から見た意見を取り入れていきたいです
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			保護者から日常の様子を伺い、関わる職員で支援会議を行い、支援計画書を作成しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13			日々のミーティングで振り返りを行い、児童一人ひとりに沿ったサービス計画を見直す機会を設けています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	2	長期休暇中などには、児童の状況や興味に応じて工夫を行い、柔軟な活動プログラムを実施しています。	SNS等なども参考に新しいプログラムを検討していきたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		1	支援前のミーティングにおいて、その日の予定や前日の子どもの様子、今後の対応について毎日話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	1	支援当日は振り返りを行うことが難しいため、翌日のミーティングで振り返りや気づいた点について話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		1	業務日誌、連絡帳等への記録を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			定期的に保護者様との面談およびモニタリングを実施し、支援計画書を作成しています。	モニタリング以外にも、連絡帳や送迎時のやり取りを通保護者様とお子さまの様子を日々共有し、課題の見直しにつなげていきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	10	1	2	ガイドラインの基本活動を確認し、複数組み合わせ、支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13			公園に行く行かないなど、自ら選択できる機会を設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		1	参加しています。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	1	変化があればすぐに関係機関に電話にて連絡出来るようにしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13			学校への送迎時や保護者様を通して、情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	3		研修する機会を設けていきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	3	長期休みなど他事業所と交流を深めるイベントを行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11		2	川口市自立支援協議会（子ども部会）主催する、「川口市児童発達支援事業所連絡会」に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13			連絡帳や送迎時に事業所での子どもの様子等を伝え合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2	1	研修のお知らせなどを配布している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	1	契約時に丁寧に伝えていきます。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			モニタリングを通して家族や本人の意向を確認し、職員間のミーティングで共有・検討する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		2	最低でも半年に一度支援計画を	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13			半年に一回のモニタリングに加え、必要に応じて事業所にて面談を実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	1	2	毎年秋ごろに茶話会を開催し、保護者同士が交流できる機会を設けています。	茶話会の機会を増やし、保護者同士が悩みや不安を共有し、少しでも安心できる場となるようにしていきたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		2	苦情があった場合はすぐに社員で話し合い、スタッフミーティングにて解決に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13			毎月デイ便り及び予定表を配布しています。活動内容などSNSで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			研修を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	3	2		より分かりやすくする為に研修などに参加し、様々な方法を取り入れていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13			公園などへ出かけた際には、近隣住民の方々へ挨拶を行い、「わかば」を知っていただき、興味を持ってもらえるよう努めています。公園では顔なじみのご近所の方も増えています。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13			マニュアル化しています。1年に2度避難訓練を行った月のデイ便りと共に、避難時の対応方法を書いた用紙を配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			年に2回、避難訓練を行っています。今年度は5月と10月におこないました。防災センターを訪問し、子どもたちとともに防災訓練を実施しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13			アセスメントを取る際に確認し、スタッフミーティングで周知しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			保護者様から聞き取りスタッフに周知しています。現在は医師の診断書を提出された児童はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			毎年研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13			支援計画書に記載しています。	